

投稿規定細則

Guidelines for Authors

1. 投稿資格：

日本臨床歯科学会雑誌（以下「日臨歯誌」）に投稿する筆頭著者および責任著者は本学会の会員に限ります。ただし、編集委員会が特に認めたものはこの限りではありません。また、共同執筆者の一部／全員が本学会会員である必要はありません。

2. 倫理規程：

ヒトを研究対象とする内容については、ヘルシンキ宣言を遵守して、倫理的に行われており、被験者あるいは患者のインフォームドコンセントが得られていなければなりません。また、所属施設の倫理委員会あるいは本学会の倫理審査委員会等の承認が得られていなければなりません。

3. 種類：

総説、ミニレビュー、原著（基礎研究、臨床研究）、症例報告、調査・統計、技術紹介、その他とし他誌に投稿または掲載されていないものに限りします。

各論文の種別および形式は以下を基準とします。

1) 総説 (Review)

特定の分野やテーマに関する著名な先行研究（原著論文など）を集め、体系立ててまとめることで、特定の問題へのアプローチや認識を整理し、それらの問題解決のための各種手法の有効性評価を行い総合的に解説したもの。

書式：著者一任とするが、日臨歯誌にふさわしいものとする。

2) ミニレビュー (Mini-review)

編集委員が依頼することを原則に、著者自身の研究を中心としたもの、又は注目すべき最新の論文から、その分野における最近の進歩と背景を解説したもの。

書式：著者一任とするが、日臨歯誌にふさわしいものとする。

3) 原著 基礎研究 (Original article)

研究の新規性（独自性）が高く、客観的な結論が得られるもの。

書式：緒言、材料および方法、結果、考察、結論、文献

4) 原著 臨床研究 (Original article)

臨床から導かれた独自性の高い研究で、客観的な結論が得られるもの。原則として10症例以上の症例数をまとめたものが望ましい。

書式：緒言、材料および方法、結果、考察、結論、文献

5) 症例報告 (Case report)

臨床で定説になっている診断法・治療法・治療術式の修正等についての提言、珍しい症例、予期せぬ合併症、予期せぬ展開を見せた症例についての報告。

書式：緒言、症例の概要、考察、結論、文献

6) 技術紹介 (Technical note)

新しい装置・技術の開発や使用経験などに関するもの。または、調査結果などを整理した内容で、独自性が高いものや、臨床歯科医学の発展に寄与する技術、例えば臨床治療の過程で着想され課題解決につながった新たな技術や優れた実用性を実現するための鍵となる技術等の価値を評価し、過度に学術的な完結性、厳密性を問わないこととする。

書式：緒言、材料および方法、結果、考察、結論、文献

8) そのほか

ケースプレゼンテーション論文など。

4. 執筆上の留意点：臨床家を中心とした読者にわかりやすく解説していただくため、図や写真を使い、できるだけ平易な表現でかつ、学術的なデータをもとにご執筆くださいますようお願いいたします。

5. 執筆要領：

1) 文字および図版の分量

(1) 総説

掲載予定ページ：18 ページ／本文：10,000 文字／図説明：各 80 文字／図表：100 点

(2) 原著，症例報告，ミニレビュー，技術紹介

掲載予定ページ：6 ページ／本文：3,500 文字／図説明：各 80 文字／図表：40 点

2) 図枚数は、「図 1a～d」といった組写真とする場合には 1 枚毎の枚数をカウントします（例：図 1a～d = 4 枚など）。

3) 海外論文は原文の内容に応じます。

4) マイクロソフト・ワード (.docx) にて入力ください。Apple Pages の場合はワード形式に書き出したものも添付してください。原稿の初めはタイトル，執筆者氏名（ふりがな），著者所属，著者略歴，連絡先およびメールアドレス。また，5) タイトルと著者名には英文をつけてください（英文の場合は必要ありません）。

6) 図表などはカラーのデータをお送りください。図表の保存形式は .jpg で解像度は 300dpi 以上でお願いします。

7) 文献，数値データに関して出典の記載をお願いいたします。

8) 出典は以下の書式にてご記入ください。

6. 投稿様式：

1) 原稿は，次の順に統一してください。

原稿は，タイトル（和文，英文），和文抄録（約 300 語），英文抄録（約 200words），本文，参考文献，図表の表題と説明文，表，図から構成されます。

英文翻訳希望の方は事務局へご相談ください。

2) タイトル（表題）について

最初のページを表題（タイトル）のページとして，原稿の種類を明記した上で，タイトル，著者（共著者含む），所属を各々和文と英文で記し，続けて連絡者のメールアドレスを記入してください。

3) 和文抄録および英文抄録

和文抄録および英文抄録は，原則として以下の 4 項目を太字で項目立てし，要約を全体でそれぞれ 300 字および 200words で簡潔に記載する。なお，抄録の末尾に字数および word 数をそれぞれ記載する。抄録には原則として略号を用いない。万一用いる場合には，初出時に，正式名称と略号を併記する。

(1) 総説

和文抄録：目的と結語を含む

英文抄録：Purpose and Conclusions are needed.

(2) 原著

和文抄録：目的，方法，結果，結論

英文抄録：Purpose, Methods, Results, Conclusions

(3) 症例報告

和文抄録：症例の概要，考察，結論

英文抄録：Patients, Discussion, Conclusions

(4) 技術紹介

和文抄録：目的，材料と方法，考察，結論

英文抄録：Purpose, Materials and methods, Discussion, Conclusions

4) 和文および英文キーワード

キーワードは和文，英文ともに 5 つ以内とし，略号を用いてはならない。

5) 本文について

①原稿は A4 サイズに MS 明朝で 10.5 ポイントの文字サイズで記してください。1 頁 35 字× 30 行、右スペースを 25mm とする。MS Word をソフトとして用い、.doc ファイルにてお願いします。なお、ファイル名は「投稿原稿タイトル-著者名」としてください。

②原稿の下段中央にページ番号を記してください。

③見出しを用いるときは次の順に項目をたててください。

3 → 3) → (3) → a → a) → (a)

④数字はアラビア数字とし、単位の記号は JIS・Z8202 および Z8203 に準じ、国際単位系 (SI) を使用するよう努めてください。

例：GHz, MPa, kW, cm, mV, μ m, nA, pF, ml, mmol, N, K, min, cm・sec・deg

⑤術用語は、原則として「文部科学省術用語集」にしたがって表記してください。

例：強度→強さ、硬度→硬さ、抗張力→引張強さ、治具→ジグなど

⑥材料、器材の表記は、一般名（製品名、製造社名、所在地、国名）を原則とする。例：即時重合レジン（ユニファースト, GC, 東京, 日本）

⑦統計処理については用いた統計手法、有意水準（例： $\alpha = 0.05$ ）あるいは危険率（例： $p < 0.05$ ）などを記載してください。

4) 文献について

①文献は、本文中の引用箇所の肩に引用した文献番号を付け本文の末尾に一括して掲載する。体裁は、1, 2, 1-3, のようにしてください。

②文献として不適当なもの、例えば未公表のデータや私信などは文献として引用しないでください。

③文献の記載方法の基本は次のとおりお願いいたします。

雑誌の場合

著者名・表題・雑誌名 発行年；巻（号）：引用ページの初めと終わり。

例：Gargiulo AW, Wentz FM, Orban B. Dimensions and Relations of the Dentogingival Junction in Humans. J Periodontol 1961; 32(3): 261-267.

例：日高豊彦. 審美的インプラント修復におけるプロトコル. 日補綴会誌 2012; 4(1) : 35-42.

単行本の場合

著者（编者）名・書名・発行地：発行所名、発行年：引用ページの初めと終わり。

例：長谷川二郎, 平澤忠, 高橋重雄（編）. 現代歯科理工学 第 6 版. 東京：医歯薬出版, 1996 : 20.

分担執筆の場合

分担執筆者名・分担執筆の表題・(In) 编者または監修者・書名・発行所名、発行年：引用ページの初めと終わり。

例：土屋賢司. 欠損歯槽堤. (In) 山崎長郎（編著）. the Quintessence 別冊 デンタル エステティック（パート VI）最先端審美修復の理論と臨床. 東京：クインテッセンス出版株式会社, 2002 : 58-65.

翻訳書の場合

著者（著）, 翻訳者（訳）. 翻訳書名・発行地：発行所名、発行年；引用ページの初めと終わり）。

例：Fradeani M（著）, 山崎長郎, 日高豊彦, 瀬戸延泰, 植松厚夫（訳）. エステティックリハビリテーション 補綴治療のための審美分析. 東京：クインテッセンス出版, 2005 : 120-125.

規格の場合

規格名略号 規格番号 - 制定年. 規格タイトル名. 発行所名

例：JIS T 6116-1990. 歯科鑄造用金合金. 日本規格協会

5) 図表について

①図や写真は刷り上り寸法以上、解像度は 300dpi 以上とし、jpg ファイルとしてください。最近のデジタルカメラを用い、縮小・圧縮を行わなければこの条件は自然とクリアされると思われます。

②図表は片段が両段一杯になることが望ましく、刷り上がりを想定して図の大きさが片段で横幅 65 ~ 75mm, 両段で 140 ~ 150mm になるように縮小コピーし、文字、記号の大きさ、線の太さなどをチェックしてください。図中の文字は、刷り上がりで本文とほぼ同じ 10 ~ 13 級（7 ~ 9 ポイント）、線の太さ 0.15 ~ 0.3mm になるよう原図

を作成してください。

- ③写真の拡大率は、必要に応じて原図中の右下に単位長さのバーで表してください。
- ④記号は中心の明確な○●□■◇◆などを使用してください。
- ⑤記号を使用する場合の凡例は、脚注に置かずに入図に入れてください。
- ⑥表については縦の罫線はできる限り入れないでください。
- ⑦表中の標準偏差は、() もしくは土とし、信頼区間との混同を避けるために説明を入れてください。
- ⑧単位などの表記は同一言語に統一してください。単位 (unit)、平均 (mean)、標準偏差 (SD)

6) 投稿論文の評価項目

投稿論文の査読に際しては、以下にあげる評価項目について評価を行うこととする。

1. 研究内容
 - 1) 日本臨床歯科学会雑誌との適合性
 - 2) 研究内容の新規性
2. 研究の意義と目的
 - 1) 研究の意義と目的の提示
 - 2) 表題の適切性
3. 研究方法
 - 1) 研究方法の適正性
 - 2) 統計処理の適正性
4. 研究結果
 - 1) 得られた研究結果の客観性、再現性ならびに信頼性
5. 考察
 - 1) 研究結果の意味の提示
(「研究結果の意味」: 「研究結果」が表している内容、あるいはそれから汲み取ることのできる内容)
 - 2) 研究結果の意義の提示
(「研究結果の意義」: 「研究結果」が他の研究や臨床などとの関連において持つ価値・重要性)
 - 3) 考察項目の適切性と論理性
6. 結論
 - 1) 研究目的との整合性と正当性
7. 論文
 - 1) 投稿規定との適合性
 - 2) 内容提示 (記述, 図, 表 [図表の英語表記を含む]) の正確性と適正性 (理解の容易さ, 長さ, 数)
 - 3) 文献引用の適正性
8. その他

7) 利益相反状態の記載

本会の定める「研究の利益相反に関する指針」および細則に従い、利益相反 (COI) 状態が存在する場合は「日本臨床歯科学会誌の投稿論文に関わる利益相反 (COI) 自己申告書」を用いて事前に学会事務局へ届け出ることとする。また、COI 状態を謝辞または文献の前に利益相反と項目立て記載する。規定された COI 状態がない場合は、「開示すべき利益相反はない。」と記載する。

8) 原稿は下記送付先までメールでお送りください。

info@tokyo-sjcd.com 日本臨床歯科学会事務局学会誌編集担当

9) 原稿依頼および執筆内容についてご不明な点は、山口文誉 (山口歯科医院 Tel : 045-349-2180 Mail : info@yamaguchi-dent.com) までお問い合わせください。

以上
日本臨床歯科学会学会誌編集委員会

投 稿 票

年 月 日 提出

| | | | | | | | |
|--------------|----------|--------|---------|---------|------|------|-----|
| 論文種類 | 総説 | ミニレビュー | 原著 基礎研究 | 原著 臨床研究 | 症例報告 | 技術紹介 | その他 |
| 和文表題 | | | | | | | |
| 英文表題 | | | | | | | |
| 著者名 | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| | 5 | 6 | 7 | 8 | | | |
| | 9 | 10 | 11 | 12 | | | |
| 所属 | | | | | | | |
| 筆頭著者 生年月日 | 西暦 年 月 日 | | | | | | |
| 連絡先 | 氏名 | | | | | | |
| | 住所 | 〒 | | | | | |
| | TEL | | | | FAX | | |
| | E-mail | | | | | | |

| | |
|---------------------------------|-------|
| 原稿枚数 (表題, 和文抄録, 英文抄録, 本文, 参考文献) | 枚 |
| 図 (写真含む) | 枚 表 枚 |
| 希望事項 | |

投稿前チェックリスト

貴稿が日本臨床歯科学会雑誌の投稿規定に沿ったものであることを確認され、以下の各項目について、必ずチェック (☑) してください。

他紙に未発表、未掲載ですか。

投稿規定の倫理規程に則していますか。

利益相反 (COI) 自己申告書を添付してありますか。

著者ならびに共同著者の承諾書への著者名の記入、捺印は揃っていますか。

論文の標題は内容を的確に表現していますか。

論文の構成は整っていますか。

《タイトル (和文, 英文), 和文抄録 (約 300 語), 英文抄録 (約 200words), 本文, 参考文献, 図表の表題と説明文, 表, 図》

論文のファイル名は「投稿原稿タイトル-著者名」となっていますか。

和文抄録は約 300 語, 英文抄録は約 200words になっていますか。

原稿は MS Word をソフトとして用い, A4 サイズで製作されていますか。

原稿の本文のフォント, フォントサイズ, 1 行の文字数, 行数, 余白などは投稿規定に則していますか。

略称を使用していませんか (プロビ→プロビジョナルレストレーション)

学術用語は「文部科学省学術用語集」にしたがって表記していますか。

商品名, 器械名などは, 可能な限り一般名を用いていますか (e.max →ニケイ酸リチウム)。

図表は鮮明ですか。図表データの保存形式は .jpg で解像度は 300dpi 以上ですか。

拡大率のある写真では単位長さのバーをつけていますか。

文献は投稿規定で定めた記載方法で, 文献番号は引用順になっていますか。

その他, 投稿規程の各項について, もう一度ご確認下さい。

患者のプライバシー保護に配慮していますか。

日本臨床歯科学会

論文投稿にあたっての承諾書

日本臨床歯科学会 殿

「日本臨床歯科学会雑誌」の投稿規定により、下記の表題の投稿原稿が「日本臨床歯科学会雑誌」に掲載された際は、下記に署名、捺印した著者は、その全ての著作権を貴学会へ譲渡することを承諾します。また、本論文がオリジナルであること、他機関の著作権を侵害しないこと、過去に誌上発表されていないこと、および他誌へ投稿していないことを確約します。

ヒトを研究（実験）対象とする内容については、ヘルシンキ宣言を遵守し、倫理的に行われ、さらに患者あるいは被験者との間にインフォームドコンセントが得られていることを確約します。

全著者は本投稿最終原稿を読み、投稿を承認したことを確約します。

表 題 :

氏 名 :

| | |
|---------|---------|
| _____ 印 | _____ 印 |
| _____ 印 | _____ 印 |
| _____ 印 | _____ 印 |
| _____ 印 | _____ 印 |
| _____ 印 | _____ 印 |

日本臨床歯科学会 日本臨床歯科学会雑誌の投稿論文に関わる利益相反 (COI) 自己申告書

著者氏名 (全員) : _____

筆頭著者所属 (省略可) : _____

投稿論文題目 : _____

* 著者全員について, 論文内容に関係する企業・組織や団体との COI 状態を記載して下さい。配偶者, 一親等の親族, 収入・財産を共有する者が COI 状態に該当する場合は, 「該当者氏名 (発表者との関係)」のように記載して下さい。

* 申告対象期間は, 研究もしくは症例に関与した月から投稿月までとする。

* 申告対象期間 (西暦) : 年 月 ~ 年 月

| 申告すべき事項【申告の基準】 | 該当の有無 (○印を付す) | ①の場合, ①該当者氏名, ②該当事項の概要, ③企業・組織や団体名等を記載して下さい。 |
|---|------------------|--|
| 1. 報酬額【1つの企業・組織や団体から年間 100 万円以上】 | 有 ・ 無 | |
| 2. 株式等による利益【1つの企業からの配当利益等が年間 100 万円以上、あるいは当該全株式の 5%以上保有】 | 有 ・ 無 | |
| 3. 特許権使用料【1つにつき年間 100 万円以上】 | 有 ・ 無 | |
| 4. 講演料【1つの企業組織や団体から年間 50 万円以上】 | 有 ・ 無 | |
| 5. 原稿料【1つの企業・組織や団体から年間 50 万円以上】 | 有 ・ 無 | |
| 6. 研究費・助成金等の総額【1つの企業・組織や団体から著者個人もしくは著者が所属する講座あるいは研究室等に支払われた総額が年間 200 万円以上】 | 有 ・ 無 | |
| 7. 奨学 (奨励) 寄附金等の総額【1つの企業・組織や団体から、著者個人もしくは著者が所属する講座あるいは研究室等に支払われた総額が年間 200 万円以上】 | 有 ・ 無 | |
| 8. 企業等が提供する寄附講座【企業等からの寄附講座に所属している場合に記載】 | 有 ・ 無 | |
| 9. 旅費、贈答品等の受領【1つの企業・組織や団体から年間 10 万円以上】 | 有 ・ 無 | |

申告日 (西暦) : 年 月 日

筆頭著者氏名 (自筆署名) _____ 印